



今号のテーマ

第1回「九州工業大学教職員意識調査」の結果を公開!

ご回答
ありがとうございました!



昨年度、多くの教職員の参加を得て策定された「九州工業大学ビジョン2040」。今年度からはJ-PEAKS事業もスタートし、大学の未来に向けた新たな取り組みが始まっています。これらの施策をより効果的に進めるため、全教職員を対象に意識調査を実施しました。今回のTAYORIではその結果の一部を公開いたします。今後も定期的に調査を行い、教職員の皆さんの声を反映できるよう取り組んでまいります。

アンケート概要

実施期間	2025年6月26日～7月3日
対象者	九州工業大学全教職員
回答数	439件
回答方法	・10段階評価の設問×7問 ・自由記述

アンケート結果（一部抜粋）

PICK UP
Q1

大学は、ビジョン等の達成に向けた大学の動きを学内に提示している？

平均評価 **5.76**



☹️ 全く当てはまらない ⇔ とても当てはまる 😊

PICK UP
Q2

大学において、ビジョン等達成のための戦略が策定され、その遂行のための体制が整っていると思う？

平均評価 **4.83**



PICK UP
Q3

2024年度に比べて、研究に費やすことのできる時間が増えている？（又はそのための施策の実施）

平均評価 **3.66**



comments_1

何度も説明会を行ってほしい



地道にビジョンの説明会を開き、各自が理解・納得して、日々の業務にビジョンを反映することができると理想

KAITOU 1

ビジョン、J-PEAKSに関する勉強会を8月から実施予定です。ご案内を出しますので、積極的にご参加ください。定期的開催することで、どのキャンパスの方も、お忙しい方も参加しやすいようにします。また、情報が一方通行にならないようにするとともに、「**ビジョンやJ-PEAKSで掲げる目標を達成するために、各組織に何ができるか、そのためにはどんな支援が必要か**」そんな議論をする機会にできたらと考えています。

KAITOU 2

J-PEAKSでは社会実装を柱の1つに掲げています。ただ、その実現のためには、社会実装だけに取り組んでいけば良いというわけではなく、**基礎研究も含めた基盤となる研究力の向上が必須**です。基礎研究に対する研究費を国だけに頼っているわけにはいきませんので、社会実装や経営改革によって稼げる大学になり、**必要な基礎研究にきちんと研究費を割けるような大学になりたい**と考えています。

comments_2

組織が思う方向に沿わない教員は肩身が狭いですね



基礎研究にも目を向けてほしい